




氏名・職名	西崎 博光 助教	
キーワード	音声インタフェース, 音声入力による顧客情報管理, 音声中の特定語の検出, 音声データ検索, 音声認識誤りの自動・手動訂正システム	
ホームページ	研究室HP→ http://www.alps-lab.org/	
所属学会	人工知能学会, 日本教育工学会, IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本音響学会	
研究者から一言	近年, スマートフォンが普及し, 音声認識技術が身近になってきました. 今後は, 新しい入力手段として「音声」が広く利用されてくることは疑う余地がありません. 私は, 人にやさしい 音声インタフェース の研究を進めています. 音声認識, 音声インタフェース を応用した入力支援などに興味がありましたら気軽にご相談いただければ幸いです.	

音声インタフェースを利用した人間支援の例

「診療予約業務支援システム」

- ☑ 音声を有効に利用し, 患者名検索, 診療日時決定を行う人間支援システムです.
- ☑ 患者と会話しているスタッフの会話を自動的に取得し, その中から必要な情報を抽出し先回りでモニターに表示します. オペレータはタッチ操作だけで必要な作業を遂行できます
- ☑ スマート端末を利用した音声からの診療メモの作成支援もできます



「音声メモシステム」

- ☑ メモ対象の音声を録音しつつ, 音声認識により声を文字化することで, メモ作業を支援するシステムです.
 - ☑ 特徴:
 - ・「声」を画面上に表示
 - ・メモしたい単語をタッチすると, メモがとれる
 - ・手書きにも対応
- わざわざ文字を書かなくてもワンタッチでメモが取れる

企業連携の応用例

人にやさしいユーザインタフェース

情報の入出力が伴うシステム等に音声認識技術を搭載することで人間の操作を支援するインタフェースが実現可能です。

例えば、キーボードやマウス、タッチパネルと音声を組み合わせることで、情報検索を高速に行うことができます。

既存システムでも、これから開発するシステムでも、音声認識技術を利用したいが実現できるかどうかといった疑問にもできるだけお答えしたいと思います。

“聞き耳インタフェース”



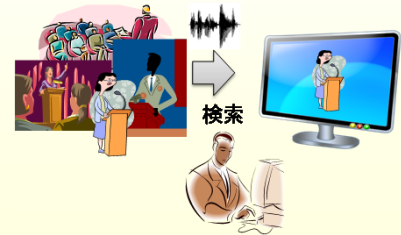
聞き耳インタフェースとは？

- ✓ 会話音声を自動でキャッチ
- ✓ 不要な内容であれば聞き流す

大量の音声データを対象とした情報検索

例えば、コールセンターなどで録音された音声の中から、特定のキーワード・フレーズが発声された箇所を特定する技術があります。

この技術を、オペレーターの発言内容の確認(不要な言動のチェック)などに応用することが可能となります。



適用できる製品・分野のイメージ

●タッチパネルが組み込まれたコンピュータや機器類

- ・公共端末のスクリーン
- ・タブレット型PC
- ・チケット等の発券システム
- ・携帯電話等の入力支援

●ネットワークに接続された、文字入力が必要な情報機器(ゲーム機等)の入力支援

- ・教育機関での授業やメモ用紙代わりに使える電子ノートシステム、
- ・電話機と連動した、メモシステムなど

山梨大学 社会連携・研究支援機構
Email: renkei-as@yamanashi.ac.jp
Tel: 055-220-8759 Fax: 055-220-8757

